

新型コロナウイルス感染症発生下における医療体制及び検査体制の現状に関する認識について（沖縄県）

1 患者発生状況

沖縄県では、2月1日に那覇へ寄港したダイヤモンドプリンセス号の乗客から感染したと推定される新型コロナウイルス感染症の患者2名が、2月14日及び2月19日に確認されました。

その後、サーベイランス体制を強化し、患者数は3名で抑えられておりましたが、全国と同様に春休み期間中、多くの観光客が県内に訪れ、県外からの患者移入例が相次いで確認される等、3月23日以降の1ヶ月間は、倍加時間が10日以下で推移し、患者が急激に増加しました。

5月19日現在の患者数は、142名であり、6名の方がお亡くなりになりましたが、5月1日以降、19日間新たな新型コロナウイルス感染症患者は確認されておられません。

2 現状

(1) 医療提供体制

医療提供体制につきましては、感染症指定医療機関6カ所及び協力医療機関16カ所を指定していましたが、4月上旬から中旬にかけて感染拡大のスピードが増加したため特に重症の病床が逼迫する事態となりました。

そこで県では、対策本部内に設置したコーディネーターチーム（常時医師2～3名、事務5～7名で運営）が、毎日リアルタイムで医療機関における入院及び空床の状況を把握して入院患者の調整にあたり、医療機関の協力を得て最大で225床の病床を確保することができたほか、軽症者のための宿泊施設療養も開始して対応した結果、これまでに発生した入院が必要な患者全てに入院調整を行うことができました。

しかしながら、医療機関においては、深刻な医療資機材の不足や感染リスクによる医療従事者への負担に加え、入院受入のための空床確保により、経営の逼迫及び医療体制の疲弊が生じていることが課題となっております。

外来診療体制については、感染症指定医療機関及び協力医療機関における発熱外来の設置、地区医師会等による発熱相談外来の設置により、感染の疑われる方の医療を確保するとともに、コールセンター及び保健所における帰国者・接触者相談センターとの連携により、医療機関に繋げる体制を整えております。

なお、軽症者の療養のための宿泊施設については、那覇市に262室、石垣市に80室を確保しましたが、借り上げに多大な経費を要することや管理業務を行う人員の配置が必要であること、医療人材の確保が困難であることから、継続的な運営は厳しい状況にあるという課題があります。

(2) 検査体制

検査体制につきましては、当初、衛生環境研究所のみにて対応しておりましたが、企業及び大学の協力を得て徐々に拡充し、現在では3ヶ所で1日あたり最大480名の行政検査が可能となりました。また、保険診療検査につきましては、新型コロナウイルス感染症患者の外来・入院治療を行うことができる21ヶ所の医療機関に加え、一般のクリニックから紹介を受けて検査を実施できるPCR検体採取センターを3ヶ所設置しました。さらに、これまで、保険診療検査を行うことができるラボが県内になく、結果が出るまでに時間を要しておりましたが、5月18日以降、県内でも保険診療検査が開始され、早期診断が可能となりました。

3 今後の課題

(1) 医療提供体制

今後の流行再発により、ピーク時に430床の入院患者が発生することが想定されており、専門家会議において、前述の感染症指定医療機関及び協力医療機関における最大225床の確保病床に加え、軽症者及び無症状者の療養のための宿泊施設や重点医療機関の設定、一般病院における新型コロナウイルス感染症以外の患者の受入促進等の対策を感染発生段階に応じて実施することにより、重症患者の病床確保と医療崩壊の回避を図っていくことを確認しております。

こうした重症患者等の受入病床確保のため、国において重点医療機関の要件や設定基準を明確に示していただくとともに、受入医療機関への運営費補助や患者受入に必要なスタッフを確保するため、やむを得ず休床とした場合も含めた空床補償等も不可欠となると考えております。

また、今回の対策を通じて、医療資機材の備蓄のための予算及び場所の確保が重要であることを痛感しており、その常態的整備のための国による支援及び医療人材の確保のための国における方針の策定等万全の備えが必要であると考えます。

(2) 検査体制

検査体制につきましては、今後は、全ての症例において抗原検査キットを活用しつつ、早期診断及び早期治療を行うことで重症化予防につながると考えております。

また、全ての医療圏においてPCR検査センターの機能を維持し、クリニックを受診した軽症者の検査機会の拡充を図るとともに、宮古、八重山などの離島においても島内で検査ができる体制の構築を図ります。

さらに、沖縄科学技術大学院大学と連携して抗体検査を実施することとしており、それにより、県内の感染状況をデータとして蓄積し、施策に役立てていきます。

4 結び

本県においては、新型コロナウイルスの感染は一時落ち着いた状況にありますが、流行の第2波、第3波に備えた柔軟で迅速な医療提供体制の構築及びPCR検査体制の拡充による患者の早期発見体制の確保により、引き続き、新型コロナウイルスの感染防止を図ってまいりたいと考えております。